


# 市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。掲載申込みは電子メールFAXでできます。詳細は、市ホームページをご覧ください。なお、掲載できない場合や内容を省略することがありますのでご了承ください。  
 ◎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索 

12月1日号への掲載の申込みは、10月25日(金)までに、広報広聴課

✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

※2019年8月から掲載要項・申込用紙が変更になっています。確認の上、申込みしてください。

広報みしま	締切日
令和2年1月1日号	11月15日(金)
2月1日号	12月20日(金)
3月1日号	令和2年1月24日(金)

## 文化

### 第20回三島フィルファミリーコンサート

📅10月19日(日)開演午後2時 場函南町文化センター大ホール(内)指揮：西谷亮さん▶ソプラノ：畝部理佐さん▶曲目：サウンド・オブ・ミュージック、ウエスト・サイド・ストーリー、ディズニー・メロディー・ランド(ミッキー・マウス・マーチ、アラジンほか) 費一般：1,000円、学生：500円 ※未就学児無料 場事務局・土山 ☎971・5297

### 第19回沼津市退職教職員作品展

📅10月22日(火)～27日(日)午前9時30分～午後4時50分 場沼津教育会館(沼津市丸子町752-11) ※駐車場あり(内)退職教職員の趣味・サークル活動の作品などを展示 費無料 場沼津市退職教職員作品展実行委員会事務局 ☎964・5500

### 「日大OB落語会」

#### (第69回「富桜祭」プログラム)

📅10月27日(日)午前11時～午後0時30分 場日本大学国際関係学部本校舎15号館1階多目的教室(内)日大OBによる古典落語2席と文筆部OBによる解説「江戸時代の罰則、三島と文化・芸能」 費無料(内)なし(内)150人(内)不要(内)日本大学国際関係学部学生課 ☎980・1901

### 第26回小出正吾先生を偲ぶ会

📅11月2日(日)午後1時30分～3時 場市総合防災センター研修室(市役所大社町別館) (内)小出正吾作品感想文入選者表彰など 費無料(内)江島 ☎987・7076

### 三島マンドリーノドルチェ

#### 第15回定期演奏会

📅11月4日(月・振)開演午後1時30分 場長泉町文化センター(内)浜辺の唄変奏曲、古賀メロディーメドレー、いい日旅立ち、365日の紙飛行機、組曲第1番、イタリアーナ、じょんがら抄、遠い日、舞踊風組曲第2番ほか 費無料(内) ☎986・9783

### 琴城流大正琴

#### 伊豆琴慧会大正琴コンサート2019

📅11月9日(日)①午前11時30分～午後0時30分②午後2時～3時 場日清プラザ正面玄関フロア(イトーヨーカドー三島店) (内)電気大正琴のアンサンブルコンサートです。第1部「作曲家阿久悠の世界」、第2部「春夏秋冬」各部歌謡曲12曲演奏。歌集を用意してお待しています。 費無料(内)伊豆琴慧会・神田 ☎080・2621・4831

### 伊豆史談会例会講座

📅11月10日(日)午前10時～正午 場楽寿園内郷土資料館1階多目的室(内)芦川忠利さん(市郷土文化財室室長) (内)向山古墳の出土状況や整備について 費無料 ※別途楽寿園入園料が必要(内)土屋比都司 ☎971・3265 ※会員募集中

## その他

### ラ・サンテふよう介護予防セミナー 寝たきり認知症にならず健康な老後

📅10月11日(日)午後2時から 場生涯学習センター3階(内)講演：健康な老後を迎えるためにはどうしたらいいか(内)竹内孝仁さん(国際医療福祉大学大学院教授) 費無料(内)不要(内)介護老人保健施設ラ・サンテふよう ☎989・7000

### 医療事故全国一斉電話相談

医療事故などについてのご相談を希望の人はお電話ください(内)10月12日(日)午前

10時～午後3時(内)静岡県医療問題弁護士会所属弁護士が対応。相談先：梅田法律事務所 ☎931・1500

### 整膚講演会と助健容体験会

整膚とは自分の指で皮膚を引っばって健康になっていく方法です(内)10月13日(日)午前10時～11時30分 場県総合健康センター3階研修室(内)100円(内)先着30人(内)当日までに、整膚の会・高野 ☎090・6330・4101

### 第39回市民公開講座 やって来る冬の乾燥 ～皮膚科医が伝えるお肌の話～

📅10月19日(日)午後1時30分～2時45分、開場午後1時 場沼津市立図書館4階視聴覚ホール(沼津市三枚橋町9・1) 費無料(内)不要(内)沼津市立病院医事課 ☎924・5100

### 順天堂大学保健看護学部公開講座 「喜楽力 楽しいだけで世界ー！」

📅10月27日(日)午前10時30分～正午 場順天堂大学保健看護学部(大宮町3・7・33) 場順天堂大学保健看護学部 ☎991・3111

### 弁護士会ウィーク無料法律相談 ※要事前申込

📅11月4日(日)～8日(金)午後1時30分～4時30分 場静岡県東部法律会館(沼津市御幸町24・6) (内) 場静岡県弁護士会沼津支部 ☎931・1848

### 第18回芹沢病院 健康教室

📅11月13日(日)午後2時～3時30分、開場午後1時30分 場芹沢病院事務所棟2階会議室(内)①骨粗鬆症予防について ※骨密度測定ができます②日常生活でできる簡単な体操(内)市健康づくり課保健師(内)無料(内)50人(内)不要(内)芹沢病院 ☎986・1075

### 天皇陛下御即位奉祝パレード

📅10月27日(日)午後4時30分～6時 場三嶋大社～本町交差点～楽寿園駅前口(内)パレード区間の交通規制は行いませんが、混雑が予想されます。ご協力をお願いします。 ※パレードに参加を希望される人は、午後4時までに三嶋大社境内へ集合(内)天皇陛下御即位奉祝委員会(三島商工会議所内) ☎975・4441

# 歴々の小箱

No.377

## 箱根八里の難所と 三島宿の伝馬役

郷土資料館では、十二月十五日まで企画展「絵図・古文書で見る箱根八里」を開催しています。今回はこの企画展に関連して箱根路を往復した三島宿の伝馬役について紹介します。

江戸時代の三島は東海道の宿場町のひとつでした。箱根西麓にあり、箱根越えのスタートまたはゴール地点として多くの旅人でにぎわい、繁栄していました。その一方、宿場町の住民には公的な人・モノを無償または低賃金で運ぶことが義務付けられていました。これを伝馬役といっています。また、宿場周辺の村々には伝馬役を補助する役割があり、これを助郷役すけごうやくといいました。この助郷役も低賃金で引き受けなければなりません。このようなあまりお金にならない労働を進んで引受ける人はそう多くありません。とくに三島宿と近郷の人々は馬を曳いて、または、荷物を背負い、険しい箱根路を往復しなければならず、大変な苦勞をしていたようです。そのため、伝馬役などの負担のために貧しくなり、中には破産してしまう人もいたようです。

どの宿場町でも、幕府などに対して伝馬役・助郷役が大変なので負担を軽くしてほしい、資金援助や貸付けをしてほしい、といったお願いをしています。そのようなとき、三島宿や周辺の村々では請願書などの文書に箱根路の伝馬役がいかに大変かを表現する文言を必ず入れて、三島宿の特殊性をアピールしていました。

例えば、享保十七年（一七三二）に三島宿の助郷村六十八ヶ村は助郷役の実施方法の変更などについて幕府宛てに請願書を出しています。その中には「三嶋宿助郷之儀ハ余宿ニ替り箱根八里の難所」という表現があり、三島宿は他の宿場と違って箱根八里の難所を往復しなければならず、助郷役が非常に大変であると訴えています。

他の文書を見ても、「他の宿では一〜二両程度で買える馬で

も伝馬役ができるが、箱根の坂を往復する三島宿では五・五〜六両するよい馬が必要である」とか「箱根での荷物の運送には平地に比べて一・五倍の人員を使っている」など、様々な切り口で箱根路の大変さを訴えています。

このような請願書では負担の軽減や資金援助を得るために誇張した表現が使われることが多いようです。しかし、実際に「風雨・雪の中、大暑の節に馬が倒れているのを度々見ている」という山中新田の住民の記録もあることから、ある程度の誇張があるかと割り引いて考えても、東海道随一の難所の往復が大変な仕事であったことは疑いないでしょう。



▲幕府宛ての請願書「乍恐書付を以奉願候御事」

## わたしの おじいちゃんおばあちゃん

当番 かつまた リお さん

おじいちゃん、一、二年生のとき、毎朝学校の近くまで一緒に来てくれました。休日には「どこか行くか？」と言い、いろんな所に連れて行ってくれます。とてもやさしいおじいちゃんです。

おばあちゃんは、お母さんが用事で家にはいない日に、ご飯を作ってくれたり、お話をしてくれます。おばあちゃんとお話するのはすごく楽しいです。

やさしく、毎日色んなことをしてくれるおじいちゃん、おばあちゃんこれからも長生きしてほしいです。



勝又摩(73才) 勝又美津江(67才)  
勝又梨緒(徳倉小6年)